

平成24年度 在宅医療連携拠点事業

地域に根ざした拠点事業の取り組み

茨城県
医療法人 博仁会 志村大宮病院
地域医療連携センター
川崎 真弓

茨城県 常陸大宮市



那珂医師会管轄地区の現状と医療機関マップ (常陸大宮市・那珂市・東海村)

	常陸大宮市	那珂市	東海村
人口	44,077	55,920	37,829
病院数	2	4	2
有床診療所数	2	4	1
診療所数	13	24	10
病床数	356	616	527
人口／病床数	124.0	90.9	71.7
在支病数	1	0	0
在支診数	3	1	1



医療法人博仁会の沿革・概要



介護療養型医療施設チロル館

介護老人保健施設
大宮フロイデハイム

茨城北西総合
リハビリテーションセンター
スイス館

志村大宮病院

法人の沿革(概略)

昭和26年 志村大宮病院設立
平成8年 介護老人保健施設
大宮フロイデハイム開設
平成15年 茨城北西総合リハビリテーションセンター開設
(回復期病棟・総合リハビリテーション施設)
平成20年 志村クリニックごぜんやま開設
平成21年 DPC対象病院
平成22年 在宅療養支援病院

病院の概要

許可病床数 178床
(一般72床 亜急性期8床
回復期50床 介護療養48床)
看護体制 一般:10対1 看護補助加算1
リハビリ 脳血管 I 運動器 I 呼吸器 I
診療科目 15科目
外来処方 院外処方

外部機関認定・認証

病院機能評価vol. 5(複合A) ISO9001・2008 プライバシーマーク

多職種連携における課題・解決策の抽出

常陸大宮地区診療所・病院・施設訪問
他職種合同カンファレンス

①在宅医療推進にあたっての課題

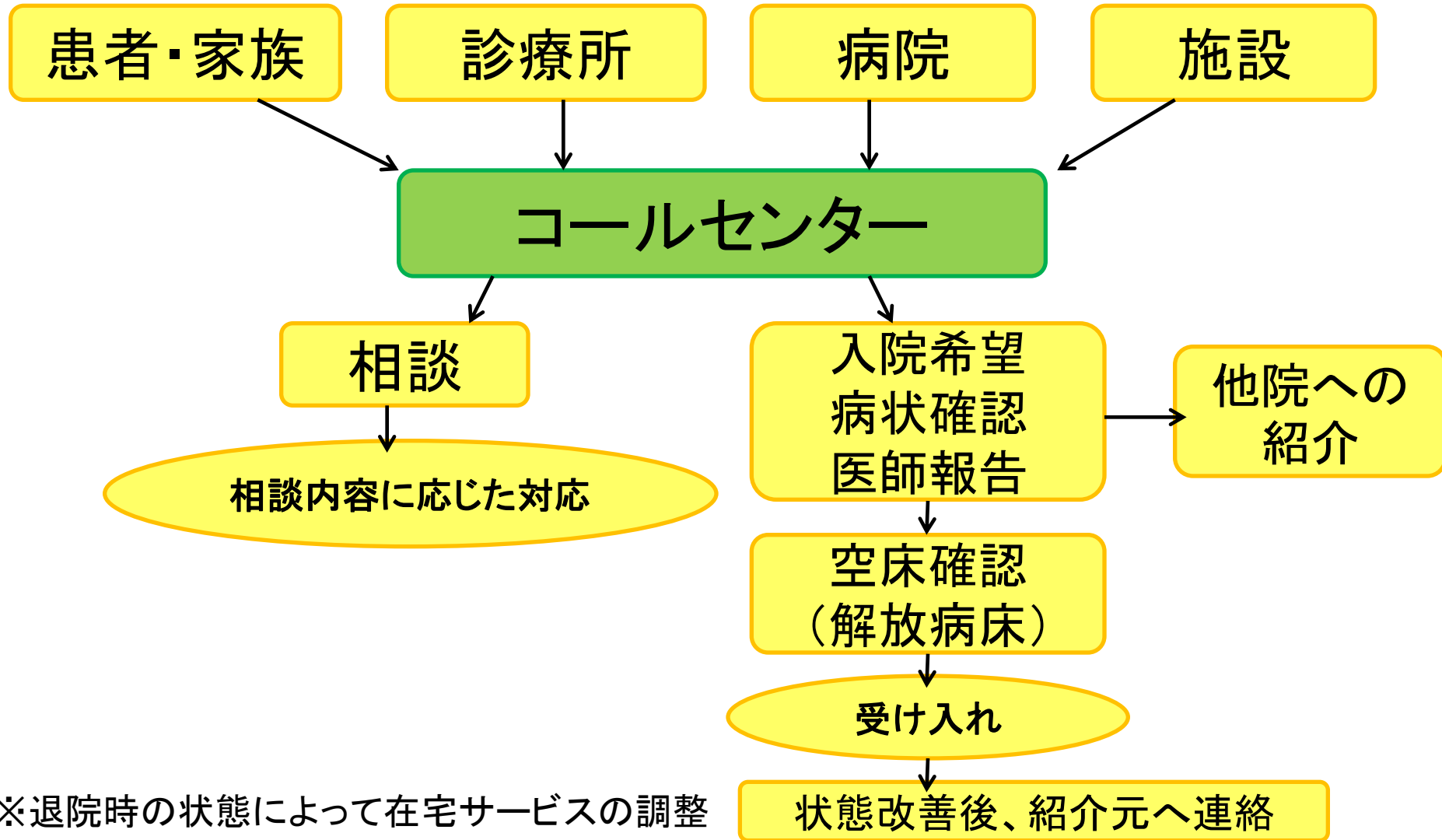
- ・医療資源が市内中心部に集中し、一部無医地区もある
- ・医師、看護師が少ない
- ・在宅医療のネットワークが確立されていない
- ・受診する為の交通手段が少ない
- ・施設は増えてきているが、入所がスムーズにいかない
- ・24時間相談にのってくれるところがない
- ・在宅療養中の患者が急変時、すぐに入院できるか不安
- ・在宅医療を知っている一般の方が少ない

②多職種における連携の問題点

- ・コミュニケーション不足
- ・協議の場が少ない
- ・職種によって敷居が高い
- ・情報共有のツールが統一されていない

在宅医療従事者の負担軽減の支援

1. コールセンター（志村大宮病院地域医療センター内に設置）



※退院時の状態によって在宅サービスの調整

2. 介護救急コール社会福祉士が24時間対応

医療機関への搬送体制の確立

地域の問題点

- ①交通のアクセスが悪い
- ②訪問診療をしている医師が少ない
- ③病院、診療所が市内中心部に集中
- ④通院を家族に頼めない老老世帯や独り暮らしが多い

医療関係スタッフが搬送し、効率的に診察できる体制が必要なのは！

対策

- ・搬送体制の確立（救急車を呼ぶほどではないが、受診したい）

事務スタッフ2名と外来看護師1名でシフトを組み依頼があれば送迎（ドアtoドア）

通常の外来受診には送迎バスを利用。状態によっては他の医療機関へ搬送

効率的な医療提供のための多職種連携

医療連携意見交換会

H24.6.22(金)開催 62名参加

意見

- ①スタッフ同士の連携がとれるようになった
- ②スムーズでスピーディに転院できることが望ましい
- ③情報交換がしやすくなる

茨城県中央・県北脳卒中地域連携パス研究会

H24.7.13(金)開催 92名参加

H24.11.7(水)開催 88名参加

茨城県医療・介護連携システム推進協議会の開催

H25.3月開催予定

在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動

「えきまえ保健室」

- ・地域住民のコミュニケーションの場であるコミュニティーカフェ「バンホフ」を利用し、毎週火曜日15:00～16:00に開催
- ・看護師、ケアマネージャー、社会福祉士がさまざまな相談にのっています。
- ・地域の医療・介護・福祉の問題を、コミュニティーの範囲で解決できることも多い
- ・目的をもって相談に行くのではなく、出かけた先に相談室があり、気軽に相談できる場所がある。
- ・勉強会（熱中症予防・インフルエンザについて・在宅医療について）
- ・ピアサポート（在宅で家族を看取った方々との交流・お茶会）

コミュニティカフェ 「バンホフ」





平成24年7月1日
10時00分～11時00分
参加者:計15名

えきまえ保健室
「熱中症予防についての勉強会」





ピアサポート事業 グリーンケア



在宅医療に従事する人材育成

①人材育成

- ・都道府県リーダー研修
- ・医療福祉連携士の育成
- ・認知症サポーター養成講座の開催

②勉強会の開催

- ・地域包括ケア研究会開催

H24.6.15(金) 98名参加

H24.7.20(金) 110名参加

H24.11.30(金) 117名参加

- ・在宅医療勉強会、在宅医療機器勉強会開催

H24.11.28(水) 55名参加

- ・訪問歯科診療、訪問薬剤指導勉強会開催

H25.1.23(水) 53名参加

まとめ

地域住民が安心して暮らせる街づくりに向けた拠点事業の活動として、拠点事業所が地域の医療・介護・在宅支援のコーディネーターとなり、在宅医療連携の促進をはかった。

在宅医療を24時間支援していくためには、バックベットの確保とコールセンターの機能の充実が、地域住民の医療・介護に対する安心感につながると考える。

今後も、行政・医師会と協働し、地域の医療提供能力に合わせた在宅医療の活動を推進していきたい。